

<b>シンポジウム名</b>	持続可能な自立共生空間の構築と発展的コミュニティの形成			
<b>開催期間</b>	平成22年2月20日から平成22年2月22日まで			
<b>開催場所</b>	会場名：工学部	開催地：福島県郡山市		
	会場名：生物資源科学部	開催地：神奈川県藤沢市		
<b>参加者数</b>	279人（内訳 学外者 103名，学内者 176名）			
<b>連携学部</b>	工学部・生物資源科学部・生産工学部・短期大学部			
<b>メンバー構成</b>	氏名	所属・資格	学位	役割
	加藤康司	工学部・教授	工学博士	総括・実行委員長
	糸長浩司	生物資源科学部・教授	工学博士	幹事長・渉外・プログラム
	橋本 純	工学部・教授	工学博士	幹事・庶務・会計
	長林久夫	工学部・教授	工学博士	企画・アドバイザー（工）
	河野英一	生物資源科学部・教授	農学博士	企画・アドバイザー（生）
	島田正文	短期大学部・教授	農学博士	企画・アドバイザー（生）
	川岸梅和	生産工学部・教授	工学博士	アドバイザー（生産工）
	伊藤耕祐	工学部・准教授	博士（工学）	参加者対応・会場係（工）
	藤沢直樹	生物資源科学部・専任講師	博士（生物資源学）	参加者対応・会場係（生）
武樋孝幸	工学部・助教	博士（理学）	参加者対応・会場係（工）	
<b>シンポジウム・学術講演会等の概要</b>				
プログラムを参照。				
<b>シンポジウム・学術講演会等が及ぼした効果</b>				
<p>① 本テーマに関して、日本大学工学部と生物資源科学部がこれまでに進めてきた研究と教育と地域指導の成果を、学内外及び国内外の人々に示すことができた。</p> <p>② 本テーマに関して、デンマーク及びイギリスにおける先進的な実験と政策の成功例の情報を地域の指導と若者、及び学内の関係者に紹介することができた。</p> <p>③ 本テーマに関心を有する教育・産業・経済・行政の人々の連携の輪を構築する機会となった。</p> <p>④ 本テーマに関して、工学部と生物資源科学部が長期的戦略を持って確実に研究を進めている姿勢を新聞とテレビの報道関係者に深く理解された。</p> <p>⑤ 日本大学が持続可能な社会づくりのための研究と教育に真剣に取り組み成果を挙げつつあることを世に広くPRすることができた。</p>				

## 当該研究及び研究グループの今後の見通し

平成22年2月20日と22日に行われた本シンポジウムは、計279名の参加者を得て、国際的  
雰囲気の中で討論も活発であり、地元新聞社にも取り上げられ広く紹介された。

当日の参加者の中の官公庁や報道関係者からは高い評価の声をいただいている。

よって今回のシンポジウムのテーマである「持続可能な自立共生空間の構築と発展的コミュニティ  
の形成」は今後も部局間連携シンポジウムとして継続されることが望ましい。

今回の実行委員のメンバーは来年度以降も同じテーマによるシンポジウムを企画する予定である。

このテーマに沿った研究は工学部と生物資源科学部の実行委員のメンバーを中心に、  
現在種々行われている。それらはシンポジウムの中で紹介されている。